

平成 25 年度第 13 回青森市子ども会議開催概要

- 1 日時 平成 26 年 3 月 28 日（金） 13 時 30 分～14 時 45 分
- 2 場所 青森市福祉増進センター（しあわせプラザ）3 階 大会議室
- 3 出席者 平成 25 年度青森市子ども委員 23 名（欠席者 7 名）
平成 25 年度青森市子どもサポーター 5 名
青森市健康福祉審議会児童福祉専門分科会委員 6 名
- 4 活動内容 【児童福祉専門分科会との合同会議】
 - ・市長からのあいさつ
 - ・今年度の活動を振り返っての感想
 - ・来年度の子ども会議でやってみたいことなど
 - ・市長からの励ましの言葉

5 開催概要

第 13 回の会議は、青森市健康福祉審議会児童福祉専門分会との合同会議として行われ、まず前半は、今回が平成 25 年度最後の「青森市子ども会議」となることから、まず始めに、市長から挨拶をいただきました。

市長あいさつ

こんにちは。

昨年 11 月の文化会館でのイベント以来だと思えます。

新しい年になって、まもなく新学期、新学年になることと思えます。ここにいる子ども委員の皆さん、この一年本当にありがとうございました。

また、サポーターの皆さんや児童福祉専門分科会委員の皆さんにも感謝申し上げます。

これから、この一年を振り返って、皆さんからいろんなご意見をいただきたいと思えます。

市といたしましては、おかげさまで、一昨年の 12 月に子どもの権利条例を制定してから 1 年と少し経ちました。また、昨年 5 月には「子どもの権利相談センター」をスタートさせることができました。

これまで、この相談センターには 2 月末現在で 286 件の相談が寄せられたところであり、このような相談はゼロになれば一番良いのですが、「子どもの権利条例」が制定され、そして、子どもの権利相談センターができたことによって、本当に困っている、悩んでいる、或いは苦しんでいるかもしれない子どもたちから相談が寄せられたということは、子どもたちの受け皿ができたことであり、条例を制定し、子どもの権利相談センターを開設してよかったと思えます。

子どもの権利条例は、すべての子どもたちがこの青森市で、青森市だけではございませんが、安心して健やかに育つ、そのような環境ができることを願って、制定いたしました。この条例の趣旨を、子どもたちはもちろん、大人やいろいろな団体、地域の方々にも、理解いただき、子どもたちが健やかに育っていく環境を、子ども委員やサポーターの皆さん、そして児童福祉専



門分科会の皆さんと一緒に作っていきたいと思います。

今日は、この一年を振り返り、そしてこれからの「子ども会議」について、或いはこれからの子どもを取り巻く環境などについて積極的に、そして自由に、建設的にお話いただければありがたいと思います。この一年間、本当にありがとうございました。

続いて、子ども委員から市長と児童福祉専門分科会会長に、平成 25 年度子ども会議の活動記録を「報告書」という形で提出しました。

活動記録報告の様子

今年度の活動を通して、青森市子どもの権利条例が市民の方々に普及するのに一歩前進できたと実感しています。これからもさらに普及を目指して頑張っていきたいと思います。



次に、いよいよ子ども委員やサポーターの皆さん一人ひとりから、今年度の子ども会議の活動を振り返って、楽しかったことや苦しかったこと、これからの抱負や子ども委員として活動して良かったことなどの感想をいただきました。

子ども委員の発表内容

- ・子どもの権利を普及したことによって、特に子どもとの接し方を考えるようになりました。差別を受けないことや、自分らしく生きる権利など、まだまだ私たち中学生には理解が足りず、間違いを犯してしまうことがあると思うので、もっともっと広まって欲しいなと思いました。

自分の思ったことを表現する権利はありますが、できる人はまだまだ少ないと思うので、青森市内の全員に子どもの権利を知ってもらえるように宣伝していきたいなと思います。

自分が変わったと思うところは、自信がついたことです。イベントで総司会という立場に立候補して、人前で話



すことなどにとっても自信ができました。子ども委員となった4月の時は、子どもの権利について知らなかったのですが、確実に成長できたと思っており、この委員をやってよかったなと思います。

今後、私が通う中学校の人たちにだけでも、権利について理解を深めてほしいと思いました。

- 今まで様々な活動をしてきて、自分の視野が広がり、イベントでのアンケート結果を見て、自分が感じなかった沢山の感想を知ることができ、とても刺激になったし、自分の成長に繋がったと思います。

これから、もっと盛んに子どもの権利条例を広めて、自分たちが自由に成長できるような環境づくりに少しでも貢献できればいいなと思いました。



- 3年間サポーターとして関わってきて、今回が一番特に層が厚くて面白かったと思います。周りに周知させるためにイベント等をできたのは、とてもよかったと思います。

来年もできればいいなと思います。



- 僕は街のグループとして、外に出て、街の人と触れ合ったりすることで、この子ども委員としてでなければできない貴重な体験ができ良かったです。またクリエイトのような地域活性のための活動があることを知り、自分も青森のために何かするべきであることがわかりました。

それから、僕は、この委員を務めるまでは、差別とはテレビのニュースで見えるような大きいものばかりだと思って



いましたが、様々な活動を通して、日常の身近にあるいじめなどにも気づけるようになり、周りの人にも平等に接することができるようになりました。

僕の通っている学校では、子どもの権利について個人的に広めることができましたが、まだまだ浸透していないので、将来的には青森市民全員が子どもの権利を知る時が来ることを願っています。

- ・今回この子ども会議の活動を通して、私は主に環境のことについて興味があったので、環境のグループとしてゴミ拾いをしたり、様々なことをしたりしました。

ごみの中では、タバコの吸殻を捨てる人が多いということ、活動を通してわかり、また、ゴミの分別に対する意識が、まだしっかり身につけていないのかなと感じました。

私の周りには捨てる人はいないのですが、もし見かけた時には注意できるようにになりたいと思いましたし、また、自分から進んでゴミの分別など、環境問題についても積極的に取り組んで行きたいと思います。



- ・私は2年間子ども委員として活動してきた、他の学校の子ども委員や大人の方々と意見交換をしていく中で、自分と同じ考えを持つ人がいることや自分では考えられない新しい見方があることを発見でき、とても楽しかったです。また、初めて会う人と積極的に話せるようになり、少し人見知りが克服できたと思います。私はこれからも子ども委員として、子どもの権利について、より多くの人に知ってもらえるように活動していきたいです。



- ・私はこの子ども会議に出て、元々子どもの権利については知っていたのですが、子ども会議に参加し、子どもの権利について細かく知ることができ、また、触れ合うことができて良かったです。

そして、その子どもの権利の中で最も私の印象に残っていることが、自由に発言する権利です。私は今まで、人の意見をさえぎったり、人が話すことに対して、色々としゃべったりしていましたが、人の意見を広い心を持って聞くことに心がけ、自分が変わりました。



- ・私はこの子ども会議をやって、今まで子どもの権利について全く知らず、制定されたこと自体も知らなくて、何も知らない状態からのスタートだったのですが、この会議に参加して色々なことを知ることができました。

私は街をテーマにした活動で、新町の商店街を調査したり、体育施設、プールなどを調査したりしたのですが、まだ、自分が知らない所で頑張っている人たちがいて、自分もその力になればいいなと思って活動することができたと思います。

まだやり残したことがあるので、来年も続けてやっていきたいと思います。



- ・僕は子どもサポーターとして、今年で2年目なのですが、やはり子ども委員時代を含め、今年で10年目の太田さんに比べたら、まだまだ全然なんですけど、子どもたちに一番年が近い分、近い立場になって活動できたのではないかと思います。やはり、活動としては、昨年11月の子どもの権利の日イベントに向けた子どもたちの主体的な活動がとても印象的で、そういった子どもたちの力を周りの人が見て、子どもの権利条例の普及啓発に繋がっていくのだと思います。

来年度以降もこういった子どもたちの主体的な活動によって、子どもの権利条例が広く伝わっていけばいいなと思っております。一年間ありがとうございました。



- 本当にこの子ども会議では、たくさん
のことを学ばさせていただき、ありがとう
ございました。それしか言うことがない
ので、手短に済ませておきたいと思いま
す。



- 今年は、参加できる回が少なくて自分
としてはちょっと残念な年だったのですが、
今考えて一番嬉しかったことは、新
しく子ども委員として参加した人が、今
までより多かったことが嬉しいなと思
いました。
それは、子どもの権利が知れわたって
いるからこそ、このような集まりに
来ているんだなと感じました。
まだ、自分では悔いがあることが
無いといえれば嘘になるんですが、
これからも自分としても活動して
いきたいと思えます。



- 私は子どもの権利を学んで、権利にはど
ういうものがあるか分かったし、街をテ
ーマに新町商店街の活性化について調べ、
売る人と買う人たちのコミュニケーション
の場だということは知っていたけど、
店同士で売り上げの相乗効果があるなど
わかりました。その他にも話し合いなど
で、いろいろ学んだことがあったので良
かったです。



- ・今年度の活動を通じて感じたことは、すごく忙しかったのですが、すごく充実した活動だったなということです。

まず、外国人の方々との交流を通して、私はもともと海外交流や異文化交流にすごく興味があったので、自分の学びたいことができたというのが、大きなポイントだったと思います。イベントに関しては、4年間続けてやってきましたが、自分たちで企画し、何かアクションを起こすということをあまりやったことがなかったので、最初はどううまくできるか心配だったのですが、約30人のメンバーたちが、自分たちの意見を出してくれることで、すごくいいイベントになったと感じております。



一年を通して感じていることは、メンバーの年齢層が小学校5年生から高校2年生であり、サポーターの方を含めるとすごく年齢が幅広い中で、自分とは違う考えの人たちもいたのですが、そういう人たちの意見を尊重することで、深い話し合いができたのもいい経験になったと思います。

来年度は私も3年生になるので、「続けたいな」という想いはあるのですが、学校の行事等もあって、参加できないこともあると思いますが、この活動は、学校の国語や数学、英語、理科、社会の勉強とは違った勉強ができる場所だと思っているので、続けてあと一年頑張りたいと思います。よろしくお願いします。

- ・サポーターは2年目となりますが、今年度は、自分たちでつくった権利条例を自分たちの手で広めていくという活動をやれたのが、とても経験になったと思います。

特にイベントでの皆さんのエネルギーがとてもすばらしく、サポーターをやりながらみんなに負けてられないなという、いい意味で影響を受けたと思っています。

とても勉強になりました。ありがとうございました。



- 学校の先生に子ども会議を通しての話をしたりするのですが、あまり知らないという先生も多いので、やっぱり大人の人にももっと知っていただけたらいいなと思いました。



- 今回2回目の参加でしたが、前回とは違うことや、新しい発見がありました。また、学校では学年会長をやっています。今回のイベントを通して、大勢の前で話すことに自信がもてるようになるのと同時に、とてもたくさんのことを学びました。そして、役に立っています。来年度は部活など、忙しくなり参加できませんが、今年度のことを活かしていきたいです。また、いつか参加しますので、その時はよろしく願います。



イベントには、顔を出したいと思っています。本当に一年間ありがとうございました。

- 私は3年間子ども委員をやってきて、子どもの権利条例を今年は青森の人に広められるような活動ができて良かったです。来年度も参加するので、今年よりも内容の濃い活動ともっと青森の人に広められるような活動をしたいです。



- ・今回の一年間の活動を通して、子どもの権利について知るだけでなく、私の場合は、クリエイトの人や商店街振興課など今まで目を向けたことのなかった団体やいろんな人と関わることができて、自分自身の視野を広げることができました。

また、いろんな人が話すように、小学生から高校生までと、サポーターの人も含めて、とにかく幅広い年齢層の中で、いろんな考え方や視点の違いなどに気付かされて、良い意味でいろんな影響を受けました。

高校でも続けたいという理由には、自分の手でもっと権利について広めていきたいし、また、新しい人も入ってきたら、その人たちとも交流を深めたいし、一番の理由は、受験の面接の時に、受かりたい一心で「来年も子ども委員を続けたいと思っています。」と断言してしまったので、引き続き続けさせていたいただきたいと思っています。ありがとうございます。



- ・今年度は大きなホールで発表したり、私たちのグループでは外国人の方と交流会をするなど、すごく沢山の出来事を経験させていただきました。

今はまだ高校2年生で一応みんなよりは年上なので、引っ張っていければいいなと思っていましたが、逆に私が支えてもらったりして、威厳がなかったのでちょっと残念でした。

来年3年生になるので、学校の行事等に妨げられて、参加できる日数は少なくなってしまうと思うのですが、来年度こそは威厳を示したいと思います。ありがとうございました。



- ・僕が子どもサポーターに加わったのは年度途中からで、大学の講義の関係で子ども会議には1回しか参加することができなかったり、イベントにも関わることができなかつたんですけど、サポーターを経験して、子どもの権利条約にも少し触れることができたことも、自分にとって良い経験になりました。本当に短い間だったのですが、ありがとうございました。



- ・今年度初めて子ども委員になり、初めは不安ばかりでしたが、やってみて回を重ねるうちにだんだんと打ち解けることができたので良かったです。子どもの権利を学んで、こんな権利があることを知ることができたし、権利の日のイベントを通して、皆の前で発表できたのでよかったです。また、僕は街というテーマで活動し、今まで知らなかったことを知ることができ、自分の身になったと思っています。



自分が変わったと思うことについては、最初に比べ青森の将来について考えることができるようになったことです。今年度一緒に活動してくれた皆さん、ありがとうございました。

- ・子ども委員になって、最初はすごく緊張していましたが、活動を重ねる度にとっても楽しくなりました。子どもの権利に関する学習会やイベント、街をテーマとした活動では、他ではできない貴重な経験ができました。青森市の子どもたちが、市の条例によって一人ひとりが認められ、守られていることがわかりました。もっと人の権利や子どもの権利について調べ、学びたいと思いました。



- ・私はまず、子どもにも権利があるということを知りませんでした。だからこの子ども会議を通して、権利について詳しく知ることができて本当に良かったと思っています。私のように、権利の内容や権利自体を知らない人は、子どもや大人を含んでまだまだいると思うので、子ども会議を通してたくさんの人に権利について考えてほしいと思っています。



また、子どもの権利の日のイベントでは、私の学校で参加してくれた人々から、「こんなことは知らなかった。」「権利について学んで良かった。」という感想をもらったので、もっともっと子どもにも大人にも楽しく知ってもらえればと思うので、権利のイベントは継続して行ってほしいと思いました。楽しかったし、とてもいい経験になりました。

- ・約一年間、この子ども会議の活動をして、始めは権利について何も知らない状態での活動だったけど、活動していくうちに、権利について知っていくことができたし、「思いやり」というテーマで保育園に行っている幼い子どもたちに「思いやり」について教えることもできたし、自分自身も学ぶこともできて、本当にいい活動だったと思います。来年度も参加したいと思っているので、来年度は今年度よりもっと良い活動ができるようにしたいと思っています。



- ・今回の集大成といえるイベントでは、一人三役やって結構大変でしたが、イベントに来てくれたお客さんに子どもの権利を教えることができたし、劇をやる中で、自分でも子どもの権利について深く学ぶことができました。来年で3年目になるので、これからも続けていこうと思っています。今までありがとうございました。これからもよろしくお願いします。



- ・大学で、地域活性化やまちづくりについて学んでいます。この子ども会議を通して、子どもたちからまちづくりに対する意見を聞き、とても刺激を受けました。この会議を通して、子どもたちにやさしい街づくりはどうやってつくれるだろうか、子どもの権利はどうしたら守れるだろうかなどを考えるようになりました。全部子ども会議があったからです。本当に感謝しています。一年間ありがとうございました。



- ・私は今年度子ども委員をやってみて、今まであまり興味のなかった子どもの権利について知ることができ、そして自分の知識を広め、深めることができる良いきっかけとなったと思います。
学校でも給食の時に放送をしてみんなに広め、生徒会を中心に活動をしていくことができ良かったです。
私は今後、子どもの権利について高校でも広めて、来年度も子ども委員を続けていきたいと思っています。一年間ありがとうございます。ぜひ来年度もよろしくお願いいたします。



- ・今年度の子ども会議にはあまり参加できなくて、本当に申し訳なく思っています。
青森市子ども会議、僕がこれに参加するきっかけとなったのは、先生に呼ばれてやってみないかと言われたことです。まあ、きっかけはどうかあれこの会議に参加できて本当に良かったと思います。この活動を始めるにあたって、どこかで「子どもに何ができるのか？所詮、子どもだろう。」という考えがありましたが、実際は違って、僕みたいな人間でも小学生の皆さんでも、自分が知りたいと思ったことを調べ、活動し、まとめて、発表するなどを、誰でもできるんだという大事なことをこの会議で学べたと思います。



僕は教師になりたいと思っていて、まだ志望校は悩んでいるのですが、もしかしたら弘前大学になったら、今度はサポーターとしても活躍していきたいと思っていますし、教師になったときには、この会議で学んだことを必ず活かせると思っているので、皆さんも、それぞれ社会に出てから絶対に役に立つと思います。

こんな僕でも一つ、二つ大事なことを学ぶことができたので、皆は来年も続けて、もっと青森市のために活躍し、僕の大好きな青森市、青森県をもっと良くしていきたいなと思っています。今までありがとうございました。

続いて、児童福祉専門分会の委員として、この子ども会議の活動や子ども委員たちを見守っていただいた方々に、感想などを述べていただきました。

児童福祉専門分会委員の方々の発表内容

- ・自分で皆さん方の年齢の頃を思い出すと、格段に皆さんはいろんな意味で私より上位ですね。考え方、話し方、特に人との接し方とか、そのようなことが非常に大切だと発言されている方が殆どでしたね。

この日本で、子どもの権利条約が皆さんのような若いときから培われているということはすばらしいと思います。

私は、児童相談所とか、非行少年の施設などで仕事をした経験があります。皆さんは権利条約の基本的なことを学んできましたが、私たちは、子どもの権利に関する被害者或いは加害者などを対象に仕事をしてきた面からすると、皆さんもこれから成長するにしたがって、もっと社会の困っている人や社会の影の部分、このような事件、このような事例がありますよといったケーススタディだけでも学んでいただけたらいいと思います。

日本では権利意識が広まっていると思いがちですが、まだまだ隠れた影の部分や犯罪とかがあります。それは、皆さんが徐々にいろんなことを知って、市民の方、県民の方に権利について広めていただければと思います。

私も皆さんの今までの初心を忘れないように意識して、青森市の条例を全国に発信しようと思っています。或いは機会があれば国連でも発表しようかなと思っています。本当に皆さんすばらしかったです。



- ・今年あまり参加できませんでした。条例制定の原案を作っていた頃は、結構参加できていたのですが、今年度皆さんと一緒に活動できなくて残念だったなという感想を持っております。

皆さんの一人一人の感想を聞いていて、皆さんが「知らないことを知ることができて、もっとみんなに子どもの権利のことを伝えて行きたい。」「大人にも知ってもらいたい。」という話をしているのを聞いて、条例を制定して良かったなと思いました。

皆さんは、子どもも大人も生きていくうえで権利があり、それは尊重されなければならないということを、この子ども会議の活動を通じて知ったわけなので、これからは、私そんなこと知りませんでし



たとは言えない、知らないふりをできない。だから、みんなの周りで権利が侵害されるようなことがあったら、それを指摘する勇気を持って活動して行ってほしいなと思いました。もう一つ思ったことがあるのですが、皆さんの発言を聞きながら思い出したのが、秋葉原事件のことで、彼が青森で生活した子ども時代や高校時代には、青森市には子どもの権利条例はなかったんだと思います。これから、もうあのようなことは起きないようにしてほしいなと思いました。

- ・昨年度の会議での皆さんからの感想と、今年の感想を比べてみると、随分今年は具体的な感想になってきたなと思います。

それはなぜかと言いますと、皆さんが子ども権利条例を青森市民に広めるためにイベントを開くということのために、自分達でテーマをつくって、自分たちの体、自分たちの頭を使って発表をしました。そのように一つ一つを体験することやいろんな年齢と触れ合えたことが良かったのかなと思います。

人は人によって育てられるとよく言いますが、自分たちは権利をどのようにしていけるのか、自由に考え、発言できる権利がある中で、自分たちは今度はこのようにしたいといった、一つ一つの小さな積み重ねが、自分たちのこれからの成長に繋がるとともに、子どもの権利条例がみんなに知られること繋がると思います。これからの活動もよろしくお願いします。



- ・本当に皆さんたくましくなって、権利条例のことも勉強されて、かなり身につけてきたのかなと思います。

先ほど、人の話をよく聞くようになりましたとの意見がありました。とても大事なことだと思います。世の中生きていくために、お互いさま、おかげさまという言葉があります。お互いに理解し合うということは、非常に大事なことだと思います。

これまで皆さんは子どもの権利条例を勉強し、普及もしてきたと思います。これからは、それをどのように使っていくかということ、困っている子どもがいたら、手を差し伸べてあげるといふ勇気を持って、頑張っていければと思います。そのためにも我々委員も頑張っていきます。

市内の中学校では独自に「子ども相談センター」の電話番号等を書いたシールを生徒に配ったという話も聞いておりますので、我々も子どもの権利について、伝えていけるように頑張っていきます。皆さんも頑張ってください。



- ・今日皆さんの話を一人一人伺っていて、視野が広がったとか、人との接し方を考えるようになったとか、皆さんそれぞれ自分が変わったと実感しているんだなと感じました。

私が学生時代の恩師から「学ぶということは変わるということ」だと教わりました。変わらなければ、それは嘘になるという話がありまして、今日その話を思い出しながら皆さんの話を聞いていて、皆さん本当に一年間学んでこられたんだなと、すばらしいことだなと感じました。

これからも、皆さん忙しいこともあると思いますが、いろんなことを学んで、どんどん変わってほしいなと思います。どうもありがとうございました。



前半の子ども委員、子どもサポーター、児童福祉専門分化会委員からの感想が一通り終わり、後半は、フリートークとして、子ども委員として活動してきたことや、他の子ども委員へのアドバイス、具体的に来年度の活動の中でどのようなことをやったらいいのかなど、自由に意見を述べました。

フリートークでの子ども委員からの発表内容

- ・昨年の夏前のことなのですが、ある友人が、いじめを受けていたということをお話してくれたのですが、その友人は大人には話したくないと言っていました。

そういう人に対しては、どのように相談にのってあげればいいのかと思いながら、返す言葉がなく、一人で考えていた時期があったのですが、こういう場合はどうすればいいのかなどと思い、皆さんの考えを聞きたいのです。



- ・僕も同じような相談を受けたことがありまして、その時僕が言ったのは、今までのいじめられていた時の友人のことは知らないけども、僕に話してくれている今の友人のことを、僕は好きだよと言いました。今までのことってどうあがいても変えられないことだけど、誰かそばにいてことで、これからのことは変えられるのかなと思ったんです。

だから「僕がずっとそばにいます。」って言ってあげることで、解決はしなくても、辛くなったときはそばにいますし、いつでも相談してもらえればということをお伝えします。



- ・私は、そういう相談を受けたことがないし、周りで見ただけでもないので、もしそのようなことがあったとしたら、私はあまり気も強くないと思うので、いじめた方の人たちに、「そういうことをしても意味がない。」「今は楽しくても、後からやられたりすると思うよ。」ということをお伝えにいくと思うので、いじめられている友人に、「あまり大きく考えない方がいいよ。」と言います。



- ・私は、もしそういう現場に居合わせたら、多分その加害者に言ってしまうと思います。

私は恥ずかしいのですが、クラスで起こっていることとかが、同じ空間にいるはずなのにわからない人間なので、相談してもらえれば役に立てるなら助けてあげようって絶対に思うし、アクション、行動を起こしたいって思うので、相談されてその人が助けてくれて言ってくれたら、私は力になりたいなって思います。



・僕は、そのような相談を受けたこともないし、自分でも経験がないので、あまり実感がわかないのですが、確かにいじめは良くないですが、相談受けるって言っても、相手のことばかり考えて、どうしたらいいのかっていうので気が動転しちゃって、わからなくなると思います。

でも、自分がいじめをされたらって思うと、どうなのかなって考えることはできるのかなと思ってて、気軽に話すことだけでも結構人の心って変えられると思うので、コミュニケーションをとることがどれだけ大切かっていうのをこの子ども会議でも学んで行けたでしょうから、それを活かせばいいのかなって思います。



委員の一人から、友人からいじめを受けていたという相談を受けたときの対応方法について、他の委員からのアドバイスや「自分だったらこうする。」といった意見交換を行いました。

続いて、来年度の活動の中で取り組んでみたいことや身の回りのことで気づいたこと、感じたことなどを発表しました。

来年度の活動の中で取り組んでみたいことなど

・今年一年の活動をとおして思ったことは、子ども委員の中で、イベントに向けて生徒会などに「こういうイベントがあるから参加してみて。」などと、学校とうまく連絡を取れている人が多かったのもので、そのようなことも活かして、子ども会議の人たちだけでなく、委員たちそれぞれの学校の生徒会やボランティア部活みたいものがある場合は、学校ともっと連携して、各学校に同じチームみたいなものをつくれればもっと普及啓発も進むと思うし、いろんな人に知ってもらえると思いました。



- ・街に遊びに出かけると、いろんな場所で勉強している高校生とかがいて、中には「こんな場所で勉強しているの？」という人もいますので、勉強のスペースとか交流のスペース、そういうのがあってもいいのかなと思います。

今のままだとお店の中とか、スーパーの飲食スペースなど、お店の方にも迷惑かけてしまうこともあると思うので、もっと勉強のスペースとか交流のスペースなどがあった方がいいのかなと思います。



- ・今のスペースの話なのですが、中学校3年生の時に、私もまじめに受験勉強している時期があって、アウガに友だちと行ったんですけど、図書館内に場所がなく、話ができるスペースの所に行っても椅子もなくて、「どこで勉強する？」という空気になってしまいました。

今はワラッセにも勉強できるスペースがあるのですが、その頃はありませんでした。

駅周辺は、他校の人も集まるのですごくいいのですが、中学校3年生の時に、勉強するスペースが少ないなと思った記憶があったので、増えてくれると嬉しいです。



- ・勉強のスペースに関してなんですけども、商店街の方で空き店舗が多いということなので、そこを活用してもいいのかなって思ったんです。

また、夏休みとか冬休みに、僕の高校では東京の方から講師に来ていただいて勉強を教えてもらうということがありました。

学力に力を入れるってことで、上下の交流であったり、他県との交流などがもっと活発になれば学力も上がりますし、地域も活性化してくると思うので、もう少し、広い視野での日本全国とか世界との交流という面に目を向けて、子どもたちのための交流の場を増やしていければいいのかなと思います。



ここまで、子どもたちから身の回りのことで気づいたこと、感じたことなどについての発表を聞いた市長から、子どもたちの意見に対する感想と、今年度、子ども会議の活動をしてくれた委員の皆さんへの感謝の言葉をいただきました。

市長からの励ましの言葉

子どもたちの交流の場のお話が出ました。11月のイベントの時にもタバコ禁止条例を制定した方がいいというお話もありましたので、皆さんの方から、市の議会で市長や担当の部長に質問や提案をしてみてもいいでしょうか。子ども会議ではなくて、子ども委員の皆さんが子ども議会やるということを考えてみてはどうかなと感じました。

実は、交流の話ですが、アウガやワラッセに行ってみて、照明の暗いところで勉強をしているので、「これは何とかしたいな。」と思いましたが、逆に「ここは勉強する場所ではないんだよな。」とも思いました。

では、どうしたらいいんだろうということも感じていました。大人の交流などいろいろありますが、子どもの交流の場は、現在、市内にはどこにあるのでしょうか？これは、この場にいる「健康福祉部長の担当だな。」など、いろいろ考えました。それと是非、来年度、「子ども議会」というものをご相談いただければいいのかなと感じています。

そして、私は皆さんに感謝を申し上げたいと思います。昨年もちょうどこの場所で、皆さんから一年を振り返ってのお話がありました。「子ども委員になりたくなかったんだよな。」とか、「子どもの権利条例って面倒くさくて。」という意見がありました。ですが「やってみたら楽しかった。」「子ども会議に来て良かった。」「子ども権利条例を作ることに参加で来てよかった。」という話を聞いて、市長になって良かったなという話をしたと思います。

市長になって良かったと率直に言える場面というのは、正直なところなかなか多くなく、実は昨年が初めてです。しかし、私はその後、子ども会議でこういう話をし、私はその時に市長になって良かった、そしてマニフェストに掲げて良かったと思ったことを話すようになりました。

皆さんが子どもの権利条例を作って、昨年のこの場で生き生きと、楽しげに話をさせていただいたおかげであり、私が市長として仕事をできる元気やエネルギーを皆さんからいただいたと思っています。

ですから、一年経って改めて皆さんに感謝したいと思いますし、どうぞまた、皆さんのいろんな活動、それぞれの学年、それぞれの学校、それぞれの地域、生徒会であったり部活であったりたくさんあると思いますが、その場面、場面で、皆さんの思いをストレートに活動していただければあり



がたいなと思います。

16歳はまだまだ若い。ましてや、小学生、中学生の皆さんはまだまだ、いっぱいいっぱい、夢も希望もたくさんたくさんありますから、どうぞその夢や可能性を一つ一つ確実にしていただければいいなと思います。ありがとうございます。

そして、最後は、市長をはじめ、子ども委員、子どもサポーター、児童福祉専門分化会委員の皆さんで記念撮影をして、今年度全ての活動を終わりました。

